

【2012年】

きらっと☆ 図書館講座・きらきら よい子の遊び講座・の報告

【Part1】

2012年4月27日(金) 12:20~12:55 図書館で、“きらっと☆図書館講座 ☆きらきら よい子の遊び講座・☆2012part1”を開催しました。

第1回目は、本学非常勤講師の和田宏一先生とピアニスト、作曲家の大藪真紀子先生が、ライフワークとして取りくんでおられる“音楽ボランティア”のお話と唱歌、ラジオ歌謡など唄いつがれてきた歌の講座を行いました。昨年度に続く 第4弾 の企画です。

今回のテーマ、プログラムは、下記のとおりでした。

テーマ “心にしみるなつかしの歌”
唄歌・ラジオ歌謡など
思い出のメロディーと共に

プログラム あざみの歌
 さくら貝のうた
 東京ブギウギ
 リンゴの唄
 朧月夜



まずは、先生方が施設で音楽ボランティアをされる際に、最近喜ばれるという “ラジオ歌謡” について教えていただきました。

そして、“ラジオ歌謡” として代表的な「あざみの歌」「さくら貝のうた」などの紹介がありました。



つぎに、若い世代にもなじみのある曲として、「東京ブギウギ」の紹介がありました。



先生方の音楽ボランティアの体験談も教えていただき、図書館講座ということで“選曲する際に参考になっている本”などの紹介もありました。



最後には、会場の皆さんと一緒に「朧月夜」を歌いました。



生活福祉の学生さんなど、約40名の参加がありました。
アンケートでは、

“高齢者施設の集団レクリエーションに参考になるレクです。どうもありがとうございました”

“介護職を目指す上で、高齢者の好みを知ることができ、勉強になりました”

“すてきな歌声をお聞きして、とても楽しかったです。また、体験談も大変参考になりました”

“特にあざみの歌が良かったです。”

“音楽は良いですね。何回も参加したいし、聞きたいです。ありがとうございました”

などの声がよせられました。

【Part2】

2012年7月13日（金）12:35～12:55 図書館で、“きらっと☆図書館講座⑥ ☆..きらきら よい子の遊び講座..☆2012part2”を開催しました。

第2回目は、本学地域こども学科 准教授 村田トオル先生が、座って簡単にできるストレッチの講座を行いました。

今回のテーマは、“すっきりストレッチ～頭すっきりで試験に備えよう！～”でした。
まずは、指を使ったストレッチから始めました。



次に足と手を使ったストレッチを行い、さらに、首や肩、腕を使ったストレッチを行いました。



参加者にいろいろな質問を交えながら、村田先生からは、今行っているストレッチの意味、体に対してどんな効果があるのかを分かりやすく解説していただきました。



福祉コースの学生向けには、高齢者施設などでも実際によく行われているストレッチの紹介がありました。アンケートでは、

“今後の施設実習にも役立つと思います。すごく参考になりました”

“（実習での）集団レクリエーションの時に、クールダウンする時や、導入前に、ストレッチをさせてもらいたいと思います。ありがとうございました”

“とても良かったです。ちょっとの時間でしたが、体が楽になりました。効果的な動かし方を教えていただき良かったです。又お願いします”

“とても楽しかったです”

などの声がよせられました。

きらっと☆ 図書館講座 with キャリア支援センター…★卒業生からのメッセージの報告

【Part1】

2012年5月8日（火）12:20～12:55 図書館で、“卒業生からのメッセージ 2012Part1”を開催しました。

今回語ってくれた卒業生は、左海 匠 さん（2008年度 幼児教育科卒業生 2009年度専攻科修了生）
社会福祉法人 心境荘苑 に介護福祉士として勤務している先輩です。



在学生からは、

- ①「今の職場での仕事内容はどのようなものですか？」
- ②「保育士・幼稚園教諭ではなく、介護福祉士として職に就いたのはどうしてですか？」
- ③「仕事をしていて一番楽しいと感じることは何ですか？」
- ④「先輩として、後輩の自分たちにアドバイスすることはありますか？」
- ⑤「実習生を受け入れる立場になって、実習生に気をつけてほしいことはありますか？」

などの質問がありました。

先輩は、

- ①「知的障害者更正施設で働いています。20歳から85歳までの利用者さんを対象に生活支援、職能訓練などをしています」
- ②「元々、こどもが好きでこどもと関わる仕事をしたいと思っていました。幼児教育科実習時の障害者施設での体験から、知的障害者更正施設での就労を考えるようになりました。専攻科に進学し、専攻科での実習先でもあった現在の職場に就職しました」
- ③「利用者さんと関わっているとき、利用者さんに笑顔で接してもらったときです」
- ④「地域子ども学科の学生さんに・・・ピアノは大丈夫ですか？僕は短大に入学してからピアノを練習し始めました。なかなか思うように進まなくて、朝1時間、夕方2時間は練習しました。今頑張っているのに、2年間せつかく勉強しているのに、資格が取得できなければ、結局は自分が損をするだけだから・・・と思って頑張りました。諦めずに、しんどいけれど頑張してほしい。自分で限界を作って目標を持って頑張れば乗り越えられます！」
「一方で、遊びたい気持ちもとても良く分かります。僕自身もそうでした。4年生大学に進学した友人などと比べると忙しく時間もなかなか作れませんが、メリハリをつけてしっかりと遊んで楽しい学生生活を送ってほしいです！」
- ⑤「挨拶はきちんとしてほしいです」「実際に働くようになってからも必要ですが、常に素直な心で相手と関わり、常に相手の良いところを見て吸収し成長してほしいです」

など いろいろな質問に答えていました。



福祉コースの学生など約30名の参加がありました。

在学生のアンケートでは

“堅苦しくなく本音が聞けた講座で良かったです。素直に学生としてしなければならぬ勉強を精一杯しなければならぬ事がわかりました”

“実習前に実際に現場で働いておられる先輩の声が聞いて良かったです。ありがとうございました”

“実体験のお話を聞かせて頂きとても説得力があり、大変有意義な時間でした”

“いきいきと話をされていて、自分も将来そんな風に職場の話ができる人になりたいです”

などの声がよせられました。



左海くん、忙しい中、本当にありがとうございました。

働き始めてからもさらに成長した姿を直に拝見できて、先生や私達職員もとても感動しました。

また、遊びに来てくださいね。

【Part2】

2012年5月16日(水) 12:20~12:55 図書館で、“卒業生からのメッセージ 2012Part2”を開催しました。

今回は、4名の卒業生が在学生に向けて、メッセージを語ってくれました。

在学生からは、

①「どうして現在の職場に就職したのですか」「今の職場での仕事内容はどのようなものですか？」

②「学生時代にもっと学んでおけば良かったことは何ですか？」

などの質問がありました。



先輩は、

①「学生時代に保育所でアルバイトをしていましたが、知り合いから児童相談所が求人を出していると聞いて、応募しました。」

「児童相談所 一時保護所に勤務しています。施設では、保護者の事情で家庭で養育できない子ども、緊急に子どもを養護する必要がある子どもを一時的に預かり、短期的に生活を共にします。その後のケアについては、ケースワーカーが中心となって行いますが、その子にとってより良い解決法を考えます。午前は学習の時間、午後は作業の時間があります。」

「専攻科に進学し、幼稚園教諭、保育士、介護福祉士の資格を取得していましたが、専門職以外の違う職種も経験してみたいと思い、アパレル関係に就職しました。その後、訪問介護事業所に介護事務、介護福祉士として勤務しています」

「専攻科時代にアルバイトをしていた保育園に就職を決めました。そこでのアルバイト経験は、学生時代にも得ることが多かったです。就職を決めてからは、アルバイト時代とは違う面もあり大変なこともありました。保育士として充実した時間を過ごしました。その後は地元の鳥取県に帰郷し、小規模多機能型の施設で介護福祉士として勤務しました。結婚を機会に、昨年度から奈良に住むようになりました。」

「学生時代にアルバイトをしていた認可外保育園に現在も勤務しています。勤務している認可外保育園では、利用形態や活動面でも、一人ひとりのこどもに合わせた丁寧な保育をしています」

②「全てです(笑い)」

「基本となる知識は働き始めてからも絶対必要となります。学ぶことができる際にしっかり学んでほしいです」

「友だちをいっぱい作ってほしい。友だち、先生や職員の方々といっぱいコミュニケーションをとっておいてほしい。」

「困ったとき悩んだときに、自分の帰れる場所を作っておいてほしいです」

など、いろいろな質問に答えていました。



アンケートでは

“主体性と自分の考えをしっかりとって仕事をされている様子を伺えて有意義な時間でした”

“お忙しい中、後輩のためにお話に来て下さったことがありがたいなと思いました。もっと多くの学生に聞いてもらいたいと思います”

などの声がよせられました。



黒木菜結さん（2007年度卒業生 2008年専攻科修了生）

訪問介護事業所 事務職員、介護福祉士

藤本圭亮さん（2007年度卒業生）

奈良県中央こども家庭相談センター 保育士・児童相談員

藤本恵美さん（旧姓：平尾）（2007年度卒業生 2008年度専攻科修了生）

社会福祉法人あけぼの会 夜間保育所 元保育士、小規模多機能型施設 介護福祉士元勤務

多根井千晶さん（2007年度卒業生）

認可外保育園 保育士

黒木さん、藤本さん、藤本さん、多根井さん、忙しい中、本当にありがとうございました。
働き始めてからもさらに成長した姿を直に拝見できて、先生や私達職員もとても感動しました。
また、遊びに来てくださいね。

きらっと☆ 図書館講座 with 学生支援センター・・・奈良佐保☆ハートサポート講座・・・の報告

【Part1】

2012年4月23日（火）12:20～12:55 図書館で、“奈良佐保☆ハートサポート講座①『自分の心と友だちを見つめてみよう～仲間作りコツ』”を開催しました。

本学カウンセラーの小川真理先生から、心のしくみや成り立ちや仲間づくりのコツについてのお話がありました。

最初に、心のしくみや成り立ちについて、絵や図で説明がありました。



次に、カードを使った簡単なゲームをしました。手持ちの3枚のカードを5～6人のメンバーでそろえるというゲームでした。



さらに、「気持ちをそろえるために心がけること」をテーマに振り返りを行いました。



小川先生からは、自分や他者を見つめたり、目に見えない“こころ”に振り返ること、「人の気持ちがわかる、想像できる力」の大切さについて、ご教示いただきました。

福祉コースの学生など約15名の参加がありました。

アンケートでは、

“面白く、レクリエーションに使用できると感じました。”

“なるほどと思い、納得できました。ありがとうございました。”

“ゲームを使った内容は身近で分かりやすかった。”

“自身の心理と行動についてゲームから解説していく事が楽しかったです。勉強になりました。”などの声がよせられました。

【Part2】

2012年10月26日（金）12：20～12：55 図書館で、“奈良佐保☆ハートサポート講座②『自分再発見!!～新しいわたしを見つけてみよう～』”を開催しました。

本学カウンセラーの榎並小百合先生から、実習や就職活動でも必要となる他者とのコミュニケーションスキルや自己理解を踏まえた上での自己評価、自己アピールの方法についてのお話がありました。

最初に「ジャンケントーク」をしました。

ほとんど初対面の4～5人でグループを作り、みんなでじゃんけんをして、あらかじめ決められたテーマに沿って、話し合いをしました。



次に、「ほめことばワーク」を行いました。ポジティブな意味の形容詞を並べた「印象・イメージ」ワークシートに、まずは自分で5つ〇をつけました。



その後、そのワークシートを順に回して、他者から見た「印象・イメージ」について5つ〇をつけてもらいました。



榎並先生からは、自分が思っている印象と他者から見た自分の印象には、多少の違いがある場合もあるので気をつけること、「自己覚知」、自己を客観的に理解し、適切な自己理解をすることの大切さについて、ご教示いただきました。就職活動や、実習でもその点に留意して臨んでほしいなどのアドバイスも頂きました。

生活福祉コース、地域こども学科学生など約10名の参加がありました。

アンケートでは、

“初めて会う方々との交流は緊張しますが、介護福祉士をめざすものとしては大変興味深く参加させていただきました”

“ほとんど始めて話すばかりで楽しいグループワークができました。自己覚知の参考になりました。ありがとうございました”

“自分発見！で、とても楽しくグループで話せました”
などの声がよせられました。

大学祭イベントの報告

★きらきらい子の遊び講座 レク☆エスペランサ講座

2012年10月20日(土) 15:00~15:30に図書館で、レク☆エスペランサが、劇・歌など講座を開催しました。

まずは、エスペランサ佐保のメンバーが、「おおきなかぶ」の劇を演じました。

アレンジした絵本は

♪ 『おおきなかぶ』 ロシア民話/A. トルストイ再話/内田莉沙子訳/佐藤忠良画 ♪ です。

おじいさん、おばあさんが、かぶをぬこうと
「うんとこしょ、どっこいしょ」 それでもかぶはぬけません。



今度は、まごを呼んできました。
「うんとこしょ、どっこいしょ」 それでもかぶはぬけません。



まごは、キティちゃんをよんできました。それでもかぶはぬけないので、アンパンマンを呼んできました。
「うんとこしょ、どっこいしょ」 それでもかぶはぬけません。



そこで、アンパンマンは、“どらえもん”を呼んできました。



「うんとこしょ どっこいしょ」 それでもかぶはぬけません。



それでもかぶはぬけません。かぶを離したくない「土」さんのパワーにかないません。
そこで会場の皆さんからパワーをもらって
「うんとこしょ、どっこいしょ」「うんとこしょ、どっこいしょ」
……やっとかぶはぬけました。



ぬけたかぶで、カレーライスを作ることになり、会場の皆さんと一緒に、「カレーライス」の歌を歌いました。



デザートに“くり”を食べましょうということで、
会場の皆さんと一緒に「大きな栗の木の下で」の歌も歌いました。



会場には、一般の方も含め、約 60 名の参加がありました。

地域の子供達など多くの参加もありました。

アンケートでは、

“明るい雰囲気でもどもたちも喜んでいて、とても嬉しく感じました”

“学生たちによる子ども向けの劇は大変楽しんでもらえ、相互に良い感じでした”

“いろいろなキャラクターで登場するのは、新鮮で面白かったです”

“大人も子どもたちも、みんなで楽しく参加されていたので、すごいと思いました。みんなが楽しめる空気を作る勉強になったと思いました”

など、たくさんの声がよせられました。

★えほんのひろば

2012年10月20日（土）13：00～15：00、15：30～16：00

2012年10月21日（日）10：00～15：00

図書館に“えほんのひろば”を設置しました。図書館内絵本ディスプレイ架前のたたみコーナーは大人気でした。



本学学生、卒業生が読み聞かせをしました。会場は、家族連れらでにぎわいました。

2日間で延べ 約 40 名の家族連れ参加がありました。

どうもありがとうございました。